



タイ国政府観光庁 Tourism Authority of Thailand

バンコク (ヘッドオフィス1階・インフォメーションカウンター) 毎日8:30 ~ 16:30  
1600 New Phetchaburi Road, Makkasan, Ratchathewi, Bangkok 10400  
Tel : 02-250-5500 Fax : 02-250-5511 TATコールセンター 局番なし : 1672

カンチャナブリーオフィス

14 Saengchuto Road, Tambon Bannua, Amphoe Mueang, Kanchanaburi 71000  
Tel : 034-511-200, 034-512-500 Fax : 034-511-529 Email : tatkan@tat.or.th

スパンブリーオフィス (アーントーン)

91 Phrapanwasa Road, Tambon Tha Phi Liang, Amphoe Mueang, Suphan Buri 72000  
Tel : 035-525-867, 035-525-880 Email : tatsuphan@tat.or.th

サムットソンクラームオフィス (サムットサコーン)

150/8-9 Samut Songkhram-Bang Phae Road, Tambon Amphawa Amphoe Amphawa, Samut Songkhram 75110  
Tel : 034-752-847 ~ 8 Email : tatsmak@gmail.com, tatsmsk@tat.or.th

ラーチャブリーオフィス (ナコーンパトム)

148 Somboon Kul Road, Tambon Na Mueang, Amphoe Mueang, Ratchaburi 70000  
Tel : 032-919-176 ~ 8 Email : tatratraburi@tat.or.th



# カンチャナブリー

Kanchanaburi

ナコーンパトム サムットソンクラーム スパンブリー ラーチャブリー



エラワン滝(カンチャナブリー)

東京事務所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館2F  
Tel : 03-3218-0355 Fax : 03-3218-0655 E-mail : info@tattky.com

大阪事務所 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-4-26 四ツ橋グランドビル  
Tel : 06-6543-6654/6655 Fax : 06-6543-6660 E-mail : info@tatosa.com

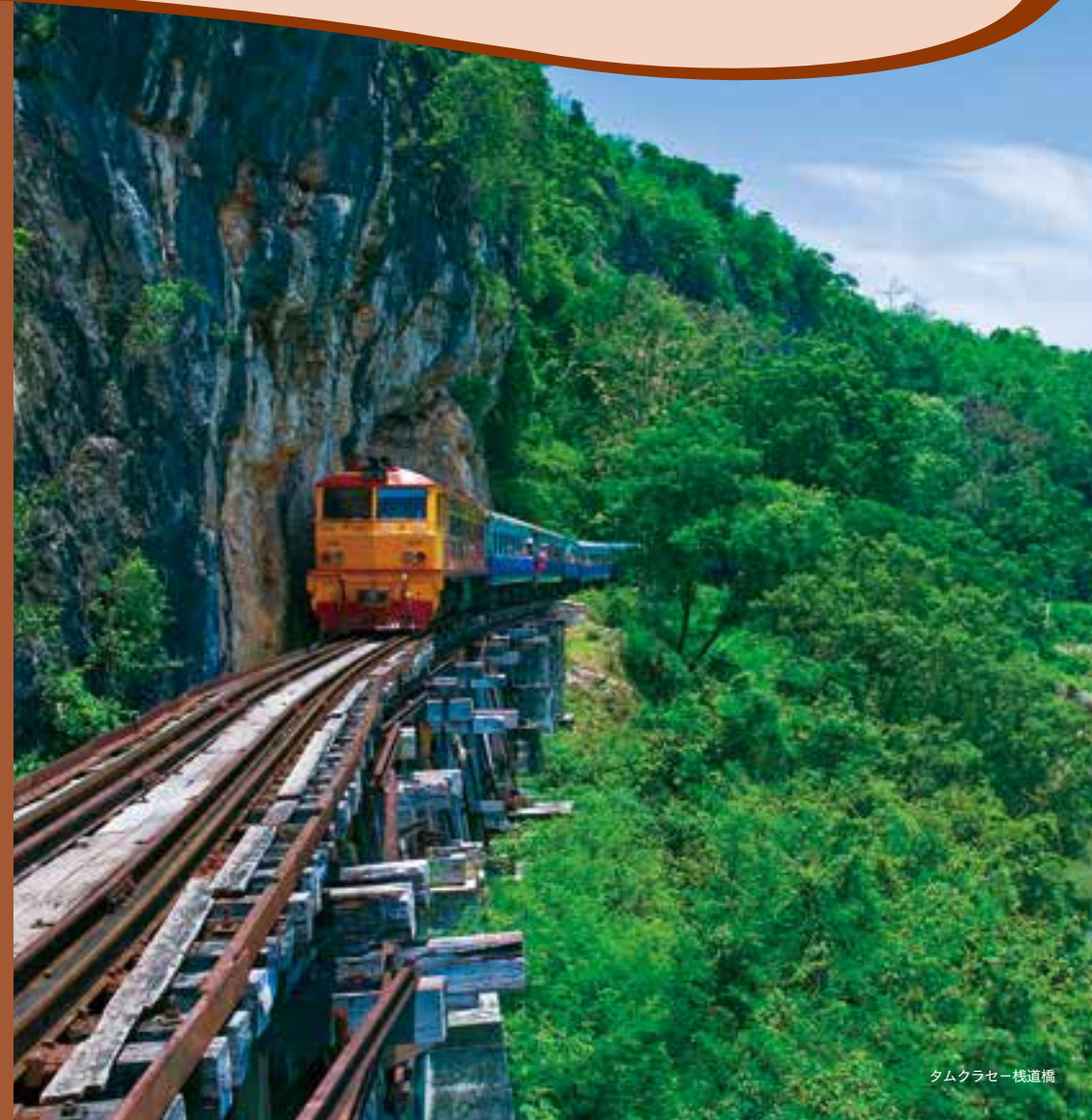
福岡事務所 〒812-0027 福岡市博多区下川端町2-1 博多リブレインイーストサイト11F  
Tel : 092-260-9308 Fax : 092-260-8181 E-mail : info@tatfuk.com

詳しくは「タイ国政府観光庁」を検索

(日本語)  
[www.thailandtravel.or.jp](http://www.thailandtravel.or.jp)  
(英語)  
[www.tourismthailand.org](http://www.tourismthailand.org)



ソーシャルメディアでタイの魅力を発信中





# 歴史の物語に魅了される緑豊かな国境の地

バンコクから西に約130km、タイで3番目に大きな県であるカンチャナブリーは、先史時代から人が住むなど歴史も古く、映画「戦場に架ける橋」の舞台となったクウェー川鉄橋でも知られています。多くの国立公園を擁するこの地では、現在も美しい自然が残されており、北側には少数民族モーン族が暮らし、独自の文化に触れることができます。



クウェー川鉄橋/カンチャナブリー



## CONTENTS

### エリア別

- ▶ カンチャナブリー ..... P.4
- ▶ 鉄道で巡るタイ ..... P.7
- ▶ サングラブリーへの旅 ..... P.12
- ▶ ナコーンパトム ..... P.13
- ▶ タイの奥深い魅力を知るローカル体験 ..... P.15
- ▶ サムットソクラーム ..... P.16
- ▶ タイの奥深い魅力を知るローカル体験 ..... P.19
- ▶ スパンブリー ..... P.20
- ▶ ラーチャブリー ..... P.21

### 特集

- ▶ 鉄道の旅 ..... P.8
- ▶ 水上マーケット ..... P.24

### インフォメーション

- ▶ イベント&フェスティバル ..... P.26
- ▶ ショッピング ..... P.27
- ▶ グルメ ..... P.28
- ▶ アクティビティ ..... P.29
- ▶ 基礎知識 ..... P.30
- ▶ いざという時に ..... P.31

### MAP

- ▶ カンチャナブリー
- ▶ サムットソクラーム
- ▶ ナコーンパトム
- ▶ スパンブリー
- ▶ ラーチャブリー



## ACCESS

### バンコクへ

✈ 日本からタイまでは、成田空港、羽田空港、関西国際空港、中部国際空港(名古屋)、福岡空港、新千歳空港(北海道)、那覇空港(沖縄)の合計7空港からスワンナプーム空港もしくはドンムアン空港(ともにバンコク)までの直行便があり、所要時間は約6時間です。

### バンコクからカンチャナブリーへ

🚆 鉄道/トンブリー駅(バンコク・ノイ駅)発、カンチャナブリー 経由ナムトゥック行きが1日2本運行(所要約2時間40分)。  
※毎週土・日・祝 は6:30発フアランポー駅(別名バンコク駅)発ナムトゥック駅行の特別観光列車が運行されています。  
🚌 バス/バンコク南バスターミナル(サイイ・ターイ・マイ)発(1等は所要約2時間)  
5:00 ~ 20:00の間20分~30分間隔で運行  
🚗 ロットゥー(乗り合いバン) /チャトゥチャック ミニバスステーション発毎日60分間隔で運行

### バンコクから ナコーンパトムへ

🚆 鉄道/クルンテープ・アピワット中央駅(バンサー中央駅) また

はトンブリー駅(バンコク・ノイ駅)発(所要約1時間30分)  
🚌 バス/バンコク南バスターミナル発(所要約1時間30分)

### バンコクから サムットソクラームへ

🚆🚌 鉄道+バス/バンコク・トンブリー地区のウォンウィエンヤイ駅発 サムットサーコーン行+バスでサムットソクラームへ(所要約2時間30分)  
🚆🚆 鉄道+鉄道/バンコク・トンブリー地区のウォンウィエンヤイ駅発 サムットサーコーン行き+マークローン駅行(所要約2時間30分)  
🚌 バス/バンコク南バスターミナル発(1等は所要約2時間)

### バンコクからスパンブリーへ

🚆 鉄道/フアランポー駅から約3時間  
🚌 ロットゥー/バンコクモーチャット北バスターミナル発(1等は所要約2時間)

### バンコクからラーチャブリーへ

🚆 鉄道/クルンテープ・アピワット中央駅(バンサー中央駅)から約2時間  
🚌 バス/バンコク南バスターミナル発(1等は所要約1時間30分)



タイ中央部の西側に位置するカンチャナブリーは、豊かな自然に恵まれた風光明媚な地。先史時代の遺跡や映画「戦場に架ける橋」の舞台となった橋など、数々の名所を鉄道で巡る旅も人気を集めています。



## 1 トウンヤイ・ファイカケン 野生生物保護区

**Thungyai-Huai Kha Khaeng Wildlife Sanctuaries**  
1991年に世界自然遺産地域に登録された、タイ最大で最後と言われる原生地域です。野生生物保護区の総面積は6,225平方km。28種の絶滅危惧種をはじめ、東南アジア本土の約1/3の哺乳類が生息する貴重な森林地帯です。

バンコクから北西に約350km。タイ西部に位置し、ウタイターニー、カンチャナブリー、タークの3県に広がる森林地帯。 開8:30 ~ 16:30頃 無 大人200B 子供100B



## 2 エラワン滝 Erawan Waterfall

クウェー川流域にある数多くの滝の中で最も高く、美しいと言われる「エラワン国立公園」内の滝です。周遊コースは全長が1500m。落差が圧巻の滝、水遊びができる滝、魚を眺められる滝など7段階に分かれています。カンチャナブリーから北に65km (バスNo.8170約90分 / 8:00 ~ 50分間隔※最終16:00)濡れてもいい服装&滑らない靴で。 開8:30 ~ 16:30 無 大人300B 子供150B

## 3 シーナカリン国立公園 Sri Nakarin National Park 1981年国立公園に指定されたタイ最大のシーナカリングダムを中心とした森林保護区。

### 4 ファイメーカミン滝 Huai Mae Khamin Waterfall

1979年に発見。国立公園本部から100mの場所にある4段目の滝「チャットケオ」は必見です。カンチャナブリーから108km。約3時間ですべての滝を巡ることが可能です。 開8:00 ~ 17:00 無 大人300B 子供150B



### 5 シーナカリン・ダム Sri Nakarin Dam

総面積1532平方km、最大貯水量177億トンに及ぶタイ最大のダムでエラワンの滝より4km。魚の種類豊富なフィッシングスポットです。カンチャナブリーから70km。ソンテウをチャーターすれば約1500B 開6:00 ~ 17:00 無 大人400B 子供200B (3 ~ 14歳)

### 6 パータット滝 Pha Tad Waterfall

滝の宝庫であるシーナカリン国立公園内で最も大きな滝。ヒンダット温泉の奥地にあり、滝の高さ、幅、水量共に迫力No.1です。カンチャナブリーから国道323号を105km。ヒンダット交差点右折約8km 開7:00 ~ 18:00 無 大人300B 子供200B



### 7 ヒンダット温泉 Hin Dat Hot Spring

1942年に日本軍兵が掘り当てた温泉。水着を持参して更衣室で着替えて、ゆっくりぬるめの温泉で心身を癒せます。カンチャナブリーから135km。国道323号を105km進みヒンダット交差点右折※バスNo.8203で約2時間30分



## 8 ワット・タムスア Wat Tham Sua

丘の上に建つ名寺院。157段の階段の先で待っているのは、カンチャナブリー最大の黄金の仏像「プラシンナプラターンポーン」。高さ75mの9重仏塔から望む、自然の緑に仏像の黄金が映える360度パノラマビューは圧巻です。バンコクから約115km、車で約2時間。カンチャナブリー駅から南東方向約16km。車で約25分。参拝の際、ケーブルカーの利用も可能。 開8:00 ~ 17:00 無 無料

## 9 ワット・タム・カオープン Wat Tham Khao Poon

第二次世界大戦中、日本軍が貯蔵倉庫として利用していた洞窟内部に仏像が安置された洞窟寺院です。薄暗くひんやりとした内部は神秘的な雰囲気。見学ルートに沿って巡っていると、黄金に輝く寝釈迦仏をはじめ、さまざまな仏像に出会えます。チョンカイ共同墓地より約300mの船着き場から内陸へ1.5km。カオープン寺院内 開6:00 ~ 18:00 無 300B



## 11 サイヨーク・ヤイ滝 Sai Yok Yai Waterfall

サイヨーク国立公園一番の見所。クウェー・イノ川対岸に架かる吊り橋から、タイの詩や歌でお馴染みの美観を一望できます。水の流れや緑、緩やかな川の流れがフォトジェニックです。カンチャナブリーからバスNo.8103 (30分間隔運行)で約2時間。サイヨーク国立公園下車 開6:00 ~ 18:00 無 大人300B 子供150B



## 9 ワット・タム・マンコントーン Wat Tham Mangkon Thong

極彩色の龍の装飾が目にも鮮やかな階段を上った先に、数体の仏像が安置された洞窟があり、メー・クローン川を一望。境内では、白い装束に身を包み水に浮かぶ、メーチー (尼僧)の修行姿を見ることができます。カンチャナブリー市内から約5km (バスNo.8191でカンチャナブリーから約20分 / 行きは8:30 ~ 17:30、帰りは7:00 ~ 16:00※30分間隔) 開8:00 ~ 17:00 無 20B



## 12 サイヨーク・ノイ滝 Sai Yok Noi Waterfall

カンチャナブリーから最も近く、アクセスの良さで人気のリゾーツスポット。滝の入口脇には、日本軍が使用した蒸気機関車を展示。水量豊かな6 ~ 10月頃がベストシーズンです。カンチャナブリーから北西に60km。ナムトゥック駅から約2km。(バスNo.8203約1時間※30分間隔運行) 開8:30 ~ 16:30 無 300B



# Kanchanaburi

## 13 クウェー川鉄橋 The Bridge Over River Kwai

映画「戦場に架ける橋」の舞台。第二次世界大戦中、日本軍が建設した泰緬鉄道が通る橋でアーチ部分は当時のオリジナル。対岸まで渡ることができます。  
カンチャナブリー市内から約3km。鉄道またはソンテウでクウェー川鉄橋駅下車



## 14 タムクラセー棧道橋& クラセー洞窟 Tham Kra Sae Bridge

クウェー・ノイ川沿いに岩壁すれすれに、戦時中に建造された全長300kmのS字カーブの木造橋。橋を渡り切る手前に洞窟があり、仏像が安置されています。  
カンチャナブリー市内から約50km。鉄道でタムクラセー駅下車



## 15 ヘルファイア・パス Hellfire Pass

泰緬鉄道建設時に最も困難を極めた両サイドが垂直の岩壁になった場所で、その名も「地獄の切り通し」。当時の資料が展示された博物館も近くにあります。  
カンチャナブリー市内から北に約84km（バスターミナルより1時間30分） 開9:00～16:00 無 無 無 無 料



## 16 アートギャラリー & 戦争博物館

Art Gallery & War Museum  
クウェー川鉄橋下流に建つ中国風の建物。第二次世界大戦当時の写真やバイク、日本軍発行の紙幣、橋の残骸などを展示しています。  
クウェー川鉄橋そば 開8:00～17:30 無 無 大人50B

## 17 JEATH戦争博物館 The JEATH War Museum

泰緬鉄道建設に携わった捕虜収容所の様子を再現。英国、オーストラリア、タイ、オランダ人の捕虜が描いたスケッチをはじめ当時の写真、日用品なども展示。  
TATオフィスから徒歩10分。パークブレイク通り 開8:30～16:30 無 無 無 50B

## 18 慰霊塔 Kanchanaburi Memorial Monument

鉄道建設中に犠牲となった捕虜、労務者、日本人将校などすべての霊をなぐさめるため日本人が建設。在タイ日本人が管理し毎年3月に慰霊祭を実施。  
アートギャラリー&戦争博物館に隣接 開8:00～17:00 無 無 無 寄付制

## 19 泰緬鉄道博物館 Thailand Burma Railway Centre

泰緬鉄道の歴史や捕虜の生活などに関する資料を公開する博物館。日本軍が作った地図やジオラマなどで当時の様子を分かりやすく展示。工事の際に死亡したのは、捕虜よりも東南アジア人労働者が多かったという記述も残されています。  
カンチャナブリー駅近くの連合軍共同墓地の隣。開9:00～16:00 無 無 大人160B 子供80B

## 20 ムアン・シン歴史公園 Mueang Sing Historical Park



タイ語で「獅子の都」という名のクメール遺跡。その中心に建つ寺院は、12～13世紀頃、クメール王国ジャヤヴァルマン7世王が建立しました。  
カンチャナブリー市内から北西約43km、クウェー川岸。ターキレン駅そば。開8:30～16:30 無 無 大人100B

## 鉄道で巡るタイ

## 時間がゆっくりと流れる泰緬鉄道の旅

映画や書籍で取り上げられてきた泰緬鉄道は、かつて旧日本軍がタイとミャンマーの国境地帯に建設した路線。今なおタイ国内に現存するカンチャナブリー～ナムトック間を走る列車に乗って、往時に思いを馳せてみる鉄旅はいかがでしょう。戦場に架ける橋「クウェー川鉄橋」をはじめ見所も豊富。車窓に広がる自然の眺めも圧巻です。

### バンコクからのアクセス情報

現在ナムトック線と呼ばれる泰緬鉄道は、1日にバンコクのトンブリー駅から2本。カンチャナブリー駅から1本の計3本が運行しています。また、土、日、祝日はフアランポン駅（バンコク中央駅）から特別観光列車の運行もあります。

### 時刻表 dticket.railway.co.th

駅名【トンブリー（バンコク）～ナムトック】	485号	257号	259号
Thonburi (トンブリー)	始発	-	7:45 13:55
Nakhon Pathom (ナコーンパトム)	発	-	9:02 15:03
Kanchanaburi (カンチャナブリー)	発	6:07	10:30 16:26
River Kwae Bridge (リパークウェー・ブリッジ)	発	6:15	10:44 16:33
Thakilen (ターキレン)	発	7:19	11:33 17:33
Tham Krasae (タムクラセー)	発	7:38	11:53 17:51
Wang Pho (ワン・ポー)	発	7:49	12:06 18:01
Namtok (ナムトック)	終着	8:20	12:05 18:15

駅名【ナムトック～トンブリー（バンコク）】	260号	258号	486号
Namtok (ナムトック)	始発	5:20	13:00 15:30
Wang Pho (ワン・ポー)	発	5:46	13:23 15:58
Tham Krasae (タムクラセー)	発	5:57	13:36 16:10
Thakilen (ターキレン)	発	6:14	13:54 16:28
River Kwae Bridge (リパークウェー・ブリッジ)	発	7:12	14:40 17:31
Kanchanaburi (カンチャナブリー)	発	7:19	14:48 17:41
Nakhon Pathom (ナコーンパトム)	発	9:21	16:31 -
Thonburi (トンブリー)	終着	9:35	17:40 -

※鉄道旅行の詳細はP8～9をご覧ください。 ※2024年10月現在

### 土日祝日 限定特別列車情報

《往路》フアランポン駅発6:30発→カンチャナブリー駅9:27着  
リパークウェー駅10:00発 ナムトック駅11:30着  
《復路》ナムトック駅14:25発→カンチャナブリー駅15:53着  
(1時間停車後) カンチャナブリー駅16:53発→フアランポン駅19:25着

## 泰緬鉄道の旅

カンチャナブリーの駅を出ると、列車はすぐにクウェー川鉄橋を渡り始めます。車窓から望む眼下に広がるのは、悠久の時を越えゆるやかに流れるクウェー・ノイ川の雄大な眺め。垂直の岸壁の間をすり抜ける「チョンカイの切通し」を過ぎた先は、キャッサバ芋畑が広がる田園地帯へ。随所で見かける牛の姿もどかな雰囲気です。カンチャナブリーを出発して約50km地点でさしかかるのが、泰緬鉄道旅のクライマックス「タムクラセー棧道橋」です。列車は全長300mのこの橋を、時速5kmでゆっくりカーブを描いて進みます。クウェー・ノイ川沿いの断崖すれすれを通り過ぎるスリリングな体験は、泰緬鉄道の旅の醍醐味です。



## タイで第二の人生を歩む日本の車両

「キハ」「ロイヤルブロッサム」「STRプレステージ」は、週末や特別な日に運行される特別な観光列車です。美しい風景を楽しみながらカンチャナブリーへ行くコースが設けられることもあります。



「キハ183系」  
元JR北海道「キハ183」/観光列車



「ロイヤルブロッサム」  
元JR北海道夜行急行「はまなす」/観光列車



「SRT Prestige」  
元JR西日本「プレートイン」/貨切列車

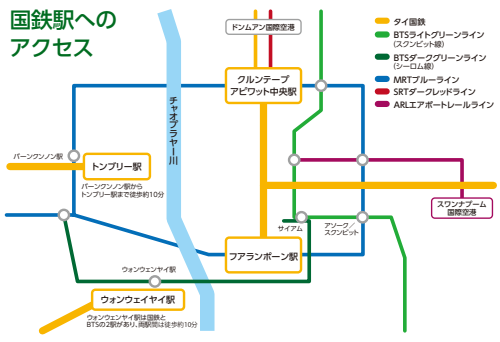


## バンコクフアランポーン駅(旧中央駅)



1916年に竣工したバンコク最古のターミナル駅。正式名は「バンコク駅」ですが、地域の人々には「フアランポーン駅」と呼ばれ、タイの首都バンコクの玄関口としてタイの人々や旅行者らに100年以上にわたって親しまれてきました。2021年12月23日をもって全ての列車の運行を終了する予定でしたが、現在も近郊列車を中心に1日あたり数十本の列車の運行が継続しています(2024年7月現在)。ドイツのフランクフルト駅をモデルにデザインされたドーム型の駅舎は独特の趣があり、ひと目見ようと訪れるファンが後を絶ちません。カンチャナブリーへは土日祝の観光列車が発着。

### 国鉄駅へのアクセス



### チケット購入方法



タイ国鉄の駅の窓口で直接購入するか、普通列車以外の列車の場合はオンラインチケットサイトで購入(クレジットカード決済)することも可能です。料金は等級とエアコンの有無によって変わります。カンチャナブリーへ行く場合、オンラインで鉄道予約の際は「Thon Buri」という名前で検索できます。詳しくは下記サイトでご確認ください。  
[dticket.railway.co.th](http://dticket.railway.co.th) ※購入、支払い、変更等に関するご質問はこちらへ [www.facebook.com/pr.railway](http://www.facebook.com/pr.railway)

## バンコククルンテープ・アピワット中央駅(バンスー中央駅)



ナコーンパトムへは約1時間30分、ラーチャブリーへは約2時間で到着します。MRT(地下鉄)ブルーライン・バンスー駅、SRT(国鉄)ダークレッドライン・バンスー駅直結とアクセスも良く、特急(SP EXP)、急行(EXP)、快速(RAP)などの高速列車はこの駅から出発します。

### 列車の等級



1等車の寝台。昼は座席に夜は寝台になります。



2等車のクッション付座席。リクライニングもOKです。

タイの鉄道には、1等車、2等車、3等車といった等級があります。1等車が最も高額で、幅広い座席や足元がゆったりしているなど、料金に見合う快適性に優れています。列車によっては連結されていない場合もありますが、快適な旅を過ごすために1等車を選んでもいいでしょう。また、タイの風情を肌で感じるために3等車に乗るのもおすすめです。



板張りベンチの3等車座席。長時間乗車は大変かもしれません。

# バンコクからのアクセス 鉄道の旅

Railway Journey in Thailand

### 列車の種別



【SPEXP】特急、【EXP】急行【RAP】快速、【ORD】普通、【CMT】近郊列車(短距離の普通列車)、【Rural Commuter】遠距離の普通列車、【Excursion】観光特別列車 ※距離や停車駅の大きさなどで種別が異なるので確認のうえ乗車。



個室や上下2段寝台などさまざまな種類がある寝台車。



食堂車や車内販売などの飲食も旅の楽しみ。

### トイレ

長距離列車にはトイレが付いています。洋式は少なく、多くはタイ式。小物を落とさないよう気をつけて。

### エアコン

エアコン付きとエアコン無しの扇風機の車両があります。エアコンは効き過ぎる場合もあるので上着の持参も必須。

### 喫煙

駅のホームと駅構内、列車内はすべて禁煙です。大きな駅では喫煙所が設けられています。

## タイ国鉄の概説・歴史コラム

総距離およそ4,000kmのタイ国鉄の歴史は1891年に溯ります。当時の国王ラーマ5世が鉄道建設計画の勅命を発したことがその始まり。1894年には、バンコク(フアランポーン)駅からアユタヤまでの運行を開始。その後、1951年にタイ国有鉄道が成立しました。バンコクから東西南北に延びる各路線は、各地をゆっくり巡る旅には絶好の移動手段です。





[カンチャナブリー]ナムトック線



- (カンチャナブリー県) ナムトック駅
- (カンチャナブリー県) カンチャナブリー駅
- (ラーチャブリー県) ジャンクシヨノン駅
- (バンコク) トンブリー駅

(バンコク)トンブリー駅からカンチャナブリーへのアクセス  
王宮の北にある広場「サナム・ルアン」の西側にあるプラ・チャーン船着場から渡し船に乗り、ロット・ファイ船着場へ。そこから徒歩またはソントウに乗って行きます。

[サムットソクラーム]メークローン線



- (サムットソクラーム県) メークローン駅
- (サムットソクラーム県) バーンレーム駅
- (渡し船)
- (サムットソクラーム県) マハーチャイ駅
- (バンコク) ウォンウィエンヤイ駅

(バンコク)ウォンウィエンヤイ駅からサムットソクラームへのアクセス  
バンコク・スカイトレイン(BTS)シーロム線ウォンウィエンヤイ駅から徒歩10分。大通りから少し入ったところにメークローン線のウォンウィエンヤイ駅があります。

近代の歴史を伝える路線



クウェー・ヤイ川に沿って、山側の切り立つ岩壁ぎりぎり走る列車はスリル満点。元JR北海道「キハ183」／観光列車



11月末～12月に開催されるクウェー川鉄橋週間には花火やライトアップなど華やかな演出も。



補修され建設当時の姿をとどめる木製の棧道橋。



トンブリー駅からナムトック駅へ向かう車内。

ナムトック線とメークローン線  
Railway Journey in Thailand  
鉄道の旅

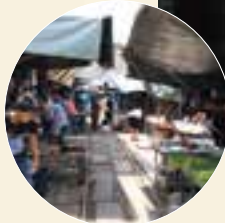
バンコクでの発着駅は、トンブリー駅。ここで紹介するナムトック線は、トンブリー駅からノー・ブラドック・ジャンクシヨノン駅までは南線と一緒に走り、そこからナムトックまでを結ぶ約200kmの路線です。ベースとなるのは、旧秦緬鉄道。クウェー川鉄橋をはじめ数々の史跡が、建設時の大変な労力と歴史を今に伝えています。



豊んだテントの脇すれすれを列車が走ります。



地元の人も買い物に訪れいつも賑やか。



列車が来ると急いで傘やテントを畳み店を閉めます。

線路上で開かれる市場

メークローン線は、首都バンコクと地方都市を結ぶ市民の足ともいえる路線です。ウォンウィエンヤイ駅～マハーチャイ駅が東線、バーンレーム駅～メークローン駅までが西線と呼ばれ、この間を渡し舟で移動します。マハーチャイ駅やメークローン駅の線路脇には食料品や日用品の市場があり、活気溢れる庶民の台所になっています。



メークローン市場(Taled Rom Hub タラード・ロムフップ)は、別名傘をたたむ市場と呼ばれています。線路の両脇には、野菜や果物などの店が所狭しとひしめき合っています。



バンコクからメークローン駅まで約65kmの路線です。



バンコクから鉄道で約1時間ほどで、メークローン駅に到着できます。

時刻表				
《往路》				
バーンレーム発	7:30	10:10	13:30	16:40
メークローン発	8:30	11:10	14:30	17:40
《復路》				
メークローン発	6:20	9:00	11:30	15:30
バーンレーム発	7:20	10:00	12:30	16:30

※2024年10月現在

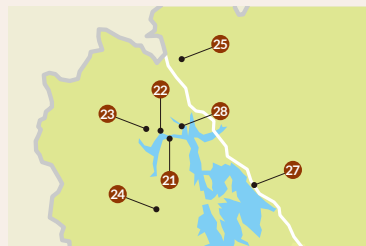


## サンクラブリーへの旅

### 少数民族が同居する国境の地

クウェー・ノイ川上流、カオ・レーム・ダム沿いを323号線を走ると、ミャンマーとの国境の町「サンクラブリー」に到着します。カンチャナブリーから230kmの地点にあるこの地は、ダム建設で水底に沈む村の住民のためにつくられた町。北側にはミャンマー内戦から逃れてきた少数民族のモーン族、カレン族なども住んでいます。

カンチャナブリー・バスターミナルからバスNo.8203乗車、所要約4時間30分



※詳細は巻末MAPへ



### 22 モーン族の村

Mu Ban Mon

モーンブリッジのたもとには、1000世帯以上が昔ながらの素朴な暮らしを営むモーン族の集落が広がっています。人々は皆礼儀正しく、熱心な仏教徒。ほほに「タナカ」と呼ばれるミャンマーの天然コスメを塗った女性が、頭に荷物を乗せて運ぶ姿はこの村ならではの。毎朝行われる托鉢の様子も必見です。  
ソンカーリア貯水湖の北西。モーンブリッジの近く

### 21 モーンブリッジ Mon Bridge (Uttamanuson Bridge)

夕焼けが美しいシンボリックなスポット。タイ最長の木造橋は全長850m、モーン族出身のウッタマ師を称えるために建設されました。一方にワチラロンコン・ダム(カオ・レーム・ダム)、もう一方にモーン族独特の家並みが広がる、橋の上からの眺めも絶景です。  
カンチャナブリー市街から230km



### 23 ワット・ワン・ウィウェーカーラム(旧寺院)

Wat Wang Wiwekaram

カオ・レーム・ダム建設により、湖の底で眠っているミャンマー様式の寺院。雨期には水に沈んで見えませんが、水位が最も下がる乾期には、その神秘的な姿を現し拝観もできます。

モーンブリッジ側のボート乗り場でボートに乗船  
開乾期のみ拝観可能。9:00 ~ 17:00 図無 料無料



### 23 ワット・ワン・ウィウェーカーラム(新寺院)

Wat Wang Wiwekaram

初代ワット・ワン・ウィワッカーラムがダム湖に沈んだため、ウッタマ師が丘の上に建立した寺院。タイ、インド、ミャンマーの建築様式がミックスされた壮麗な美しさが魅力です。

サンクラブリー市内から約6km、モーンブリッジから約2km 開9:00 ~ 17:00 図無 料無料



### 24 ブッダガヤ・チェディ

Chedi Phutthakhaya

遠くからでも目を引く、黄金色に輝きそびえるインド式仏塔。インドのブッダガヤにある仏塔を模してウッタマ師によって建立されました。入口では2頭の巨大な獅子が迎えてくれます。

開7:00 ~ 16:00 図無 料無料

### 25 スリー・パゴダ・パス

Three Pagodas Pass

国境の峠に連なる3つのパゴダは、アユタヤ時代にビルマ軍が進攻した証。歴史的英雄のほか日本軍もこの峠を越え、後に泰緬鉄道を建設しました。

サンクラブリー市内から約22km。バスターミナルからソンテウで約40分  
開7:00 ~ 18:00 図無 料無料



### 27 ワチラロンコン・ダム(カオ・レーム・ダム)

Vajiralongkorn Dam (Khao Lam Dam)

全長1019km、高さ92m、1984年に完成した巨大ダム。95億トンの貯水量を溜めるのに2年もの歳月を要したとか。雨期には水が増し、湖上を筏に乗って巡るのもおすすめです。

カンチャナブリーから約153km。トーン・バーブームの街から北に6km 開8:00 ~ 17:00



### 29 プラ・パトム・チェディ

Phra Pathom Chedi

街の中心にそびえる、高さ120.45mの釣り鐘状の大仏塔。紀元前3世紀頃、インドのアショーカ王がインドシナ半島に最初に建てたとされています。その後幾度か改修された、タイ最大、世界最大とも言われる塔はまさに仏教国タイの象徴です。

ナコーンパトム駅から徒歩約10分 開7:00 ~ 17:00 図無 料60B



### 30 プラ・パトム・チェディ国立博物館

National Museum of Phra Pathom Chedi

7 ~ 11世紀ごろ栄えていたドヴァーラヴァディー王国。大仏塔に隣接する博物館には、ナコーンパトム周辺で発掘されたドヴァーラヴァディー様式の遺物を展示しています。仏像や石碑など独自の仏教美術は一見の価値あり。

ナコーンパトム駅から徒歩約10分。プラ・パトム・チェディの南側 開9:00 ~ 16:00(水~日) 図月火祝 料100B



### 31 サナム・チャン宮殿

Sanam Chan Palace

20世紀初頭に王室の別荘および巡礼時の住居として建造。

プラ・パトム・チェディから西へ約1.5km、徒歩約20分 開9:00 ~ 16:00 図無 料50B ※2024年11月現在臨時休業



### 32 タイ・ヒューマン・イマージェリー蠟人形博物館

Thai Human Imagery Museum

チャクラー王朝の歴代の王をはじめタイの様々なライフシーンや歴史文化などを蠟人形で展示。120体の蠟人形はリアルで本物のよう。

バンコク南ターミナルからナコーンパトム行き新道経由のバス乗車約40分 開9:00 ~ 17:30 ※土日祝8:30 ~ 18:00 図無 料300B

### 33 スアン・サンプラーン(旧サンプラーン・リバーサイド)

Suan Sampran

ゴルフ場や宿泊施設もあるレジャーランド。パトムオーガニックビレッジでは体験型アクティビティでタイの暮らしや伝統文化に触れることができます。週末9:00 ~ 16:00開催。

バンコク南ターミナルからナコーンパトム行き旧道経由のバス乗車約55分 開8:00 ~ 18:00 図無 料www.suansampran.com



ナコーンパトム

世界最大級の仏塔がそびえるナコーンパトム。インドシナ半島の中で最初に仏教が伝来したとされ、今もなお仏教の聖地として全国から多くの巡礼者が訪れています。











## 38 アンパワー水上マーケット Amphawa Floating Market

古い家屋や長屋が残り、地元住民も昔ながらの水上生活を過ごすこのエリアは、古き良き時代のタイの面影が残る懐かしい佇まい。全長約500mの運河の両岸にお土産、タイ料理、スイーツ、タイ式コーヒーの店が連なり散策するだけでもほっこり気分。バンコクから車で約1時間30分、南バスターミナルからバスに乗りアンパワーで下車、徒歩約15分  
開金土日15:00 ~ 21:00頃まで

## 39 バーン・ノイ水上マーケット Bang Noi Floating Market

レトロな街アンパワーにある、ひときわのんびりした風情のマーケット。週末のみ開かれてきましたが、現在は農場直営の新鮮食材や愛情こもった食品が販売され賑わっています。内部には宿泊施設もあり、運河沿いのステイを満喫するのもおすすめ。

土日祝日のみ早朝~夕方まで  
☎034-761-537



## 40 ターカー水上マーケット Tha Kha Floating Market

ココナッツや果物の農園の縁に抱かれた、のどかな水辺のマーケット。小さな運河に浮かぶ地元の野菜や果物を積んだボートがお店になります。安くて美味しい料理を売るボートも多数。昔ながらの雰囲気気分が旅情を誘います。

メークロン駅からパター行きソントンでターカー水上マーケット下車 土日祝日の7:00 ~ 12:00頃まで  
☎034-753-728

## バンコク発! 水上マーケットツアー

カンチャナブリー近隣エリアには、昔ながらのタイの人々の暮らしを体感できる水上マーケットが多数点在。バンコクから出発するツアーも豊富にあり、アクティビティや観光と組み合わせも自在です。P24 ~ P25で詳しく紹介していますので参考に!



## 41 ワット・バーンクン Wat Bangkung

長い期間無人だったため、本堂が大きな菩提樹におおわれている寺院。昨今のアンパワーブームと同時に注目を浴び、観光客が多く訪れるようになりました。神秘的なオーラを放つ堂内には、金色の仏像やお釈迦様の一生を描く壁画も。船のチャーターまたはアンパワー水上マーケット周辺から乗り合い船で到着 開8:00 ~ 16:30  
☎無 ☎無料



## 42 ワット・ペット・サムット・ウオラウィハー Wat Ban Laem, Wat Phet Samut Worawihan

かつて漁師の網にかかり、プラサート・トーン王の統治時代に建立されたこの寺院に運ばれた...そんな伝説が残る仏像「ルアン・ポー・ワット・バーンレム」は、この街の宝。仏に手を合わせれば暖かい慈愛に包まれます。  
開6:00 ~ 17:00 ☎無 ☎無料



## 43 ラーマ2世記念公園 King Rama II Memorial Park

美しく整備された公園内には、屋外映画館、タイ文学植物園、地元の産物を買うギフトショップなども点在。博物館には初期ラッタナコーシン時代の人々の生活様式が、伝統的な家屋をモデルに分かりやすく展示されています。  
開8:30 ~ 16:30 ☎水 ☎60B ☎034-751-666



ホタル

## 44 アンパワー川の蛍観賞 Firefly Watching (Amphawa)

アンパワーを流れるメークロン川にはランブーの木が生い茂り、この花の蜜を求める蛍が数多く生息。夜に輝く蛍の光はイルミネーションのように眩く、クリスマスツリーにたとえられるほど。5 ~ 10月が見頃で、水辺に美しい光景が広がります。船のチャーターあるいは、アンパワー水上マーケット周辺からの乗合船 ☎無 ☎乗合船の場合は80B前後、貸切船600B

300もの運河が張り巡らされているサムットソンクラー。南国の果樹園に囲まれ、伝統的なタイの水辺の暮らしが残るこの地には、都会の喧噪を離れて穏やかなひとときを過ごすことができる。





# Samut Songkhram



## 45 ワット・バン・カポーム Wat Bang Krapom

こぢんまりした寺院ながらも、ルアン・ポー・コンという仏像のほか、4つの大きな仏足石と、真珠で美しく装飾された小さな仏足石などを安置しています。仏陀の一生を描いた彫刻、神や天使、中国式の家屋を描いた絵画なども見どころです。

☎無休 ☎無料

## 46 聖母生誕大聖堂

Cathedral of the Nativity of Our Lady

メークローン川に向かって優美に佇む19世紀に建てられた壮麗なゴシック様式のローマ・カトリック大聖堂。黒い天井と白い壁のコントラストが美しい堂内を宝石のように彩るのはフランス製のステンドグラス。

☎9:00 ~ 16:00 (火~土)、10:30 ~ 16:00 (日)

☎無料 ☎034-761-347



## 47 ワット・プラドゥー Wat Pradu

アユタヤ王朝末期に建立された歴史ある寺院。プミポン前国王の祖父にあたるラーマ5世王がここに立ち寄った際、棚や食器、うちわなどを寄進。境内には寄進の品々の展示棟が設けられ、観光客にも一般公開されています。

船のチャーターあるいは、アンパワー水上マーケット周辺からの乗合船で ☎8:00 ~ 17:00 ☎無 ☎無料



## 48 アンパワー・チャイパッタナ ヌラック(プロジェクト)

Amphawa Chai Pattananurak (Project)

運河沿いの家々を再生し、ギャラリーやショップとして営業する街の活性化プロジェクト。目的は地域の生活を守ると同時に観光業を推進すること。工芸品作りの紹介、音楽会や展示会など様々な催しを行っています。

☎8:30 ~ 16:30 ☎185-191 Amphawa Sub-district, Amphawa District

## 49 メークローン鉄道市場 Maeklong Railway Market

線路の両脇に店がひしめきあうメークローン駅近くの市場。列車が往来できるよう、店の傘やテントがいつせいに閉じられる様子から「傘をたたむ市場」とも呼ばれています。1日8回列車が通過する直前の数分間が見ものです。(P.11参照)

バンコク駅南バスターミナルから直連のミニバスで約1時間30分 ☎6:00 ~ 18:00 ☎無 ☎無料



## タイの奥深い魅力を知るローカル体験

# サムットソングクラーム

バンコクっ子に人気の日帰りデスティネーション、サムットソングクラーム。今も昔も変わらない穏やかで緑豊かな田園風景が、心を癒し、懐かしい物語りをささやきかけてくれます。海も川も森もあるこの地域は、大自然の恵みを体感しつつアクティブな滞在ができる、このうえないロケーション。自然に親しみ自然と共存するエコツーリズムを体験しましょう。



## 50 バーン・バンプラブ・コミュニティ Ban Bangphlap Community

コミュニティ内に広がる農園を自転車に乗ってくると見学。地元の人とふれあひながら、ココナッツの花蜜から作るココナッツ・シュガー作りも体験できます。

《鉄道》バンコクのウォンウェイヤイ駅から乗車しメークローン駅で下車。トゥクトゥクまたはソングテウで約20分(バス・ミニバン) バンコク北バスターミナルから乗車し、アンパワー水上マーケットで下車。トゥクトゥクまたはソングテウで約10分。

☎11:00 ~ 19:00 ☎034-761-985



## 52 ドーン・ホイ・ロット Don Hoi Lot

メークローン川の河口の砂浜で、ホイロット(二枚貝)などの潮干狩りを満喫。ベストシーズンは3~5月です。

☎1時間400B (ボート代、潮干狩りの道具) ※干潮時のみの営業のため事前に要確認 ☎065-037-8767



## 53 塩田 ラーニングセンター

Naklua School Salt Lake Learning Center

タイ有数の塩の産地でもあるサムットソングクラーム。このセンターでは、塩の加工過程を学ぶことができます。

99/1 Moo 7, Bang Kaew Sub District, Muang District, Samut Songkhram ☎800B (1コース/人) ☎081-856-2673



## 51 マングローブ 保護センター

Khlong Khon Mangrove Conservation Center

環境保護について学べるエコツーリズム施設です。マングローブの植樹、猿の餌付け、水上泥スキーを楽しめます。

1/3 Moo 3 Khong Khon, Muang ☎700B (クローンコン寺から林までのボート代) ☎086-177-7942



## 54 バーンリムクローン・ホームステイ・ コミュニティ

Ban Rinklong Homestay Community

民家に宿泊する1泊2日のホームステイプランを用意。花蜜からできるココナッツシュガー作りや、川岸での僧侶による祈禱など、ここでしか体験できない時間を満喫できます。

43/1 Moo 6, Ban Prok, Muang District, Samut Songkhram ☎089-170-2904 Baanrinklong.net/en/

## 55 バーン・ターカー Baan Tha Kha

ターカー村にある村民が運営するコミュニティ。ココナッツ・シュガー作り体験をはじめ夜の蛍見物、民家ホームステイなどを体験できます。ココナッツ畑でのサイクリングも爽快。

Tha Kha Village, Tha Kha Sub District, Amphawa District, Samut Songkhram ☎034-766-208







56 ドン・チェディ記念塔  
Don Chedi Monument

歴史の街・スパンブリーの象徴ともいべき記念塔。1593年、ナレスアン大王がタイの独立を勝ち取った記念に建てた塔を、1952年にタイ陸軍が高さ22m・基礎幅36mの仏塔で覆いました。毎年1月には盛大なお祭りも開催。  
開月～金8:30～16:30 土日7:00～17:00 休無料無料



57 サムチュック・マーケット  
Samchuk Market

まるでタイムスリップしたように錯覚させるオールドマーケット。100年以上の歴史がある木造の建物が連なる市場内には伝統的なコーヒー店、おもちゃ屋、理髪店、写真スタジオなどがあり、さながら博物館のようです。北部のバスターミナル・モートチット2から定期バスが運行中 開8:00～16:30 休無 料無料



79 ドラゴン・ディセندانツ博物館 (天龍公園)

Museum of the Descendants of the Dragon (Heaven Dragon Park)

1996年にタイと中国の外交関係樹立20周年を記念し、中国文明の歴史を聖なる動物である龍の形で表現して設計されました。展示内容は、歴史上の重要な出来事、重要人物の伝記、哲学、地域の知恵、中国人の先祖による重要な発明など興味深いコンテンツで構成されています。

Malai Maen Road Tha Phi Liang Mueang Suphan Buri Suphan Buri 72000 バンコク市内からスパンブリーまで車で約3時間 開水～金10:00～16:00、土日9:00～16:20 休月火 料99B 開035-526-212



58 チャルム・パツタラ・ラーチニー公園とバンハーン・ジャムサイ・タワー

Chaloem Phatthara Rachini Park & Banharn-Jamsai Tower

ウォーターランドや音楽噴水、子供の遊び場などがある公園内には、タイで最も高い123.25mのタワーがそびえています。タワー最上部のパノラマ展望台からは街を一望できます。

開10:00～19:00、土日祝10:00～20:30 (タワー 18:00まで) 休月 料公園10B、タワー30B (18時以降40B)

・特産品・

地元の人をはじめ観光客に人気の高いのが、ピンクやグリーン、茶色などカラフルな彩りの蒸しケーキ。アヒルの炙り焼き、魚や肉の一夜干しなども街の市場や屋台で売られています。竹や藤の蓑、水草を用いて編み上げたカゴ、金製品、陶器などの手工芸品も有名です。

Suphan Buri

Ratchaburi



60 ダムヌン・サドゥアック水上マーケット

Damnoen Saduak Floating Market

文化保存目的と観光向けに開発された水上市場。果物や野菜、魚などを山のようにならんだ小舟が運河を所狭しと行き交う、活気溢れる風景が観光客に人気。ヌードルやスイーツもここで入手できます。

バンコクから南西に約80km。南バスターミナル(サーイ・ターイ)から約2時間。マーケット内は船をチャーター(料金目安:2～4名で30分500B) 開7:00～13:00 休無 料無料

61 シーナリー・ビンテージ羊牧場

Scenery Vintage Farm

牧場があるスワンブン郡は、「タイのスイス」「シヤムのヨーロッパ」などと言われる山間のリゾート地です。牧場では羊の餌やりや羊毛の刈り方を学んだり、羊乳のアイスクリームの試食もできます。

234 Moo 7, Suan Phueng Sub-district, Suan Phueng District 開7:00～17:30 (週末と祝日は18:30まで) 休無 料200B～ 開081-000-7070 http://sceneryvintagefarm.com



62 スワン・シン・バーン・ディン

Suan Sin Ban Din

歌やダンスを含め芸術全般を学べる、芸術の町ラーチャブリーならではの施設です。館内には劇場や図書室があり、毎月最終の週末にはオープンスペースにて現代劇の上演もあります。

開9:00～18:00 休月 Jed Samian Marketの近く 開094-495-8596、032-740-189



63 プルックラック農場

Rai Pluk Rak

国内有数の観光農場の一つ。週末には気軽に参加できるワークショップが多く開催され、事前に連絡すれば有機農業の体験も可能です。オーガニックメニューの食事や農産物の販売もあります。

130 Moo 1, Petchkasem Road, Wang Yen Sub-district, Ban Phae District 開土日8:00～18:00 休月～金 料大人250B、子供200B 開089-369-6665 https://www.facebook.com/thaiorganicfood



64 アルパカ・ヒル Alpaca Hill

約40万平方メートルという広大な敷地内で、ふわもこ可愛いアルパカとふれあえる牧場。他にもハムスターなど小動物もたくさん。迷路などアトラクションもありのんびり楽しめます。

357 Moo 8, Pha Pok Ta Ko Lang Road 開月～木9:30～17:00、金～日9:00～18:00 休無 料大人290B 開www.alpacahill.com

バンコク郊外にある芸術の町・ラーチャブリー。メークロイン川沿いに開けたこの場所は、暮らしてアートが共存しています。また、水上マーケットが豊富な地としても有名です。







65 ナンヤイ影絵  
博物館  
(ワット・カノン)  
Nan'yai shadow Museum (Wat  
Khanon)

タイで最も古い伝統芸能であるナンヤイ(影絵人形劇)。スコータイ時代に始まり、アユタヤ時代に繁栄したこの芸能を保護してきたのがこの寺院です。踊り・文学・語り・手工芸・音楽など5つの芸術分野を組み合わせたパフォーマンスは必見。  
ラーチャブリー市内からメークロン川に沿って約27km北上 開8:00 ~ 17:00 ※影絵ショー毎週土曜10:00 ~ 11:00 無料(お布施推奨)



67 タオ・ホン・タイ  
陶器工場  
Tao Hong Tai Ceramic Factory

龍柄の水瓶はこの地方の特産品で、水道がない時代に好評を博しました。設立80年を越えるこの工場では、艶があり豪華な水瓶を製造しているほか、時代に応じた現代的な陶器を作る工程を一般公開しています。  
234/1, Moo 2, Chedi Hak Road, Chedi Hak Sub-district, Muang District 開8:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00 無料 032-337-574, 032-323-630 www.thtceramic.com



66 ワット・ノーンホイ  
Wat Nong Hoi

ラーチャブリー県内及び近隣エリアで崇敬を集める寺院。見晴らしのいい山に鎮座し、その山頂には高さ16mのグアン・イム像がそびえ、その反対側にはラタナコーシン・マハー・ムニー仏が立ち、多くの人々が祈りを捧げます。  
市内から3080号線および3089号線を通って約12km 開7:00 ~ 17:00 無料 無料

68 サイアム文化園  
Siam Cultural Park

広大な敷地を持つターム公園内にある博物館です。館内には蠟彫刻による国内外の著名人をはじめ仏像、建築などを展示。「サイアム(Siam: シヤム)」と呼ばれていた、タイ王国の歴史や文化をリアルに感じることができます。  
41/1, Moo 3, Wang Yen Sub-district, Bang Phae District 開平日9:00 ~ 16:30, 土日8:30 ~ 17:00 無料 大人300B、子供200B 032-381-401, 032-381-404, 081-526-5930



69 コイキー・オールドマーケット Koi Ki Old Market

100年以上続く市場コイキー・オールドマーケットは、メークロン川沿いに約1kmにわたって賑わう歴史ある市場。さまざまなタイフードを楽しめる屋台があり、お土産に人気の陶器・ミニドラゴンジャーも充実しています。  
タオ・ホン・タイ・ディークン・アートギャラリーから徒歩3分 開金土日17:00 ~ 21:00

陶器について学ぶ

タオ・ホン・タイ陶器工場では、伝統的な陶器や作陶について学べるワークショップを実施。自分のスタイルでの絵付けにも挑戦できます。



70 タオ・ホン・タイ・ディークン  
Tao Hong Tai dKunst

ラーチャブリー初の現代アート美術館。古い木造3階建家屋をリノベーションし、現代アーティストの作品展示スペースとカフェを併設。芸術を通じ人が集う場となっています。  
323 Woradet Road, Na Muang Sub-district, Muang District 開月~土9:00 ~ 17:30, 日10:00 ~ 17:30 無料 www.facebook.com/THT.dKunst



71 オポイ市場  
Oh Poi Market

バンコクから157km、車で約2時間半の山中にある、川辺に設けられたカレン族の市場。市場内には、縁起の良い色鮮やかなカンドン(蜘蛛の巣飾り)が飾られています。市場は土日のみで、早朝には川辺からボートに乗った僧侶が訪れ、托鉢を行うことができます。  
222 Ta Nao Si, Suan Phueng District, Ratchaburi 70180 アクセスバンコクから157km、車で約2時間半 開土日のみ7:00 ~ 14:00 064-985-7533 www.facebook.com/ohpoimarket



72 バーン・ホーム・ティアン  
Baan Hom Tian

アロマキャンドルで名高い小さい町。ショップ、カフェ、レストランなどがお洒落に揃い写真スポットも豊富。キャンドル作り体験も。  
Kilometer Stone No. 33, Suan Phueng District 開平日8:30 ~ 17:00 土日8:30 ~ 18:00 081-841-1895, 085-845-7379 www.facebook.com/banhomtien



・特産品・

豊かな自然に恵まれたラーチャブリー。水瓶が特産品として発達したのも、焼き物にふさわしい土があったからこそだそうです。農産物としてはタイ最初の有機メロン農場「コロフィールド」産のオーガニックメロン。「ノーンポー・ラーチャブリー乳牛生協」の牧場産の安価で高品質な牛乳及び乳製品。さらに、半世紀の歴史をもつ料理店「クン・メーム」の麺料理など、ぜひ食したい特産品も多数。ゆるやかに流れる時間と共に堪能しましょう。





## ラーチャブリー県

### バンコクからのアクセス

■鉄道/クルンテープ・アピワット中央駅(バスー中央駅)から約2時間 ■バス/南バスターミナルから約1時間30分



### ダムヌン・サドゥアク水上マーケット Damnoen Saduak Floating Market

バンコクから約90分で行ける水上マーケット。手漕ぎボートに乗って水上を漂いながら買い物できるのもここならではの。食品や雑貨などを積んだ小舟が行き交う様子を見ているだけで、水上生活の魅力を体感。運河沿いにもお土産屋や食堂が連なり賑やかです。

バンコクから南西に約80km。南バスターミナル(サーイ・タイ)から約2時間。マーケット内は船をチャーター(料金目安:2~4名で30分500B) 開7:00~15:00 入無 出無料

ボートをチャーターして水上ショッピング

月の満ち欠けで開く緑の中のマーケット



### ターカー水上マーケット Tha Kha Floating Market

地元で採れた野菜や果物を中心に販売する、ココナッツ畑が広がる田園地帯ならではのマーケット。ボートに積まれた商品の中には、OTOP(一村一品運動)の特産品も並びます。

メークローン駅からバレー行きソントウでターカー水上マーケット下車 開土日祝日の7:00~12:00頃まで 入034-753-728



### アンパワー水上マーケット Amphawa Floating Market

古き良き時代の面影が残る懐かしさが魅力です。昼間よりも日暮れ後により人が増え、灯る明かりで一層エキゾチックな雰囲気。ボートクルーズが特に人気。

バンコクから車で約1時間30分、南バスターミナルからバスに乗りアンパワーで下車、徒歩約15分 開毎週金土日のみ開催 15:00~21:00頃まで

夜のボートクルーズツアーが人気

## サムットソクラーム県

### バンコクからのアクセス

■車/高速35号線で63kmの距離。戦勝記念塔からミニバンに乗るとメークローン市場で降りられます。  
■鉄道/ウォンウィエンヤイ駅発で毎日運行しています。



連日買い物客で賑わう風情ある佇まい

### バーン・ノイ水上マーケット Bang Noi Floating Market

農場直営の新鮮食材や、手作りの食品が販売され、地元の人の活気が溢れるマーケット。宿泊施設が市場の奥にあり、運河沿いのローカルな雰囲気を満喫できます。  
Bang Noi Canal, in front of Wat Koh Kaew, Kradang Nga, Bang Kon Tee 開土日祝日のみ早朝~夕方まで 入034-761-537

# 昔ながらの市場の雰囲気を楽しめる人気スポット 水上マーケット Floating Market

## ナコーンパトム県

品数豊富な川沿い市場

ローカル感満載の寺院内にある市場



### ワット・ドンワイ水上マーケット Wat Don Wai Floating Market

倉庫を思わせる川沿いのマーケット。食料品や雑貨など品数豊富な市場で買い物を。訪れた際は、まず観光船の予約をするのがベター。9つのお寺巡りができる観光船は1人60B。

バンコクから約30km 開平日8:00~17:00、土日7:00~18:30 入無



### ランパヤー水上マーケット Lumpaya Floating Market

ナコーンパトム県の東端にある「ランパヤー寺院」内にある水上マーケット。週末は地元の人で賑わいます。川沿いに屋台をはじめボートがずらりと並び、地元の人々の生活を覗く気分。果物や総菜のほか手芸品なども豊富です。

バンコクから約55km 開土日祝のみ8:00~17:00

### バンコクからのアクセス

■鉄道/トンブリー&フアランボン駅から約1時間30分 ■バス/南バスターミナルから約1時間

### SNS 映えする 赤い蓮の花咲く楽園

### レッドロータス水上マーケット Red Lotus Floating Market

赤い蓮の花が一年中咲く池に面したマーケット。ドローン撮影サービスもあり、ここでしか撮れない一枚を。蓮の花弁で具を包む名物ミアンカムもフォトジェニックです。

バンコク中心部から約70km。車で約1時間30分 開8:00~17:00 入無 入場料無料、ボート代外国人1名100B、ドローン撮影400B

### 水上マーケットを もっと楽しむために

服装は動きやすいもので。買い物をスムーズにするために、小銭のご用意を。また、新鮮な食べ物を売ってますが衛生面に注意を。魚介は生でなく、火が通ったものを選ぶのが安心です。





## カンチャナブリー

### 11月末 12月 クウェー川鉄橋週間

River Kwai Bridge Week  
歴史的な鉄道建設物を記念した一大イベント。最大の見所はクウェー川鉄橋が光で彩られる「大花火大会・光と音の祭典」。



## ナコーンパトム

### 1月 2月 ナコーンパトム フルーツフェスティバル

Nakhon Pathom Fruits Fair  
毎年旧正月の時期に豊作を祝ってプラ・パトム・チェディの境内で開催。品評会など数々のイベントが行われます。



### 1月 2月 ナコーンパトム フード&フルーツフェア

Nakhon Pathom Food and Fruits Fair  
フルーツフェスティバルと同時期・同会場にて開催されます。果物や加工肉など県の農産物や食品を紹介します。



### 5月 ヴィサカブーチャ (仏誕節)

Visakha Puj Buddhist Festival  
毎年陰暦6月の満月の日に行われる仏教徒にとって大切なお祭り。参拝者が手にするロウソクの灯火で会場は光の海に。



### 11月 プラ・パトム・チェディ祭

Phra Pathom Chedi Festival  
陰暦の12月、9日間にわたって行われるプラ・パトム・チェディの大祭。国内外から大勢の仏教徒が参拝に訪れます。



## サムットソングラーム

### 11月 ロイクラトン祭り(灯ろう流し)

Loi Krathong Sai (Amphawa)  
陰暦12月、灯籠(クラトン)に炎を灯しメークローン川に流します。川面に揺らめく何万個もの光が、幻想的な一夜を演出します。



## ラーマ2世祭

2月 Fair in Honour of King Rama II

ラーマ2世公園を舞台とする華やかなお祭り。演劇や舞踏、古典的な野外仮面舞踏劇などの芸能が賑わいます。



## ライチ祭

3月下旬  
4月上旬 Lychee Fair

ライチの産地で名高いアンパワー郡の市役所で開催。楊貴妃も愛したというライチの香りで会場全体が包まれます。



## プラートウー食祭り

12月 Mae Klong Mackerel Eating Festival

地元産サバ科の魚「プラートウー」(首折れ魚)を使った50種類以上の料理が味わえる伝統的なお祭り。



## スパンブリー

### 1月 ドン・チェディ記念祭

Don Chedi Memorial Festival

タイの独立を果たしたナレアン大王を讃え、光と音のショーをはじめ民芸伝統文化ショーなど盛大な催しが開かれます。



### 8月 9月 ティンクラチャート

Thing Krachat

日本でいう餅撒きのような趣の徳を積むお祭り。県や自治体が食料や生活必需品を撒き、人々で賑わいます。

## ラーチャブリー

### 3月 4月 スイートグレープ&ダムヌンサドウアク 水上マーケットウィークフェア

Floating Market  
甘さと美味しさで名高いダムヌンサドウアク種のブドウをはじめココナッツ、ポメロなど高品質な農産物を展示&販売。



### 4月 ナン・ヤイ影絵人形劇祭

Nang Yai Shadow Puppet Festival

タイの古典芸能・影絵人形劇を保存するワット・カノン寺にて開催。影絵人形劇などの催しが行われます。



## 特産品

### ◆カンチャナブリー

春雨  
さとうきび  
ヘットホーム(キノコの種類)  
ムアンカン・ブラック・スピネル  
◆ナコーンパトム  
ソムオー (ザボン)  
カノム・ターン(蒸しケーキ)  
カノムピア(あんこパイまんじゅう)  
カオラム  
(竹蒸しココナッツミルクもち米)  
ポークソーセージ  
チリペースト  
ヒヤシンス製品  
吹きガラス

### ◆サムットソングラーム

ライチ  
キングオレンジ  
ブドウ  
グアバ  
ココナッツ  
ソムオー(カーオヤイ種)  
ココナッツシュガー  
平貝・ホイロット(二枚貝)  
ベンジャロン焼き  
◆スパンブリー  
竹・籐製品  
金製品  
ベンジャロン焼き  
ウォーターヒヤシンスを使ったカゴ  
手織りの布製品  
蒸しケーキ  
缶詰(クワイや筍)  
キノコ  
ハニーローストダック  
干し魚・干し肉  
ウォーターチェスナッツ  
◆ラーチャブリー  
ドラゴンジャー  
セラミック  
オーガニックメロン  
牛乳および乳製品  
黒豆腐  
バンカーバイナップル



春雨  
カンチャナブリーのお土産としておすすめなのは、混じりけのない緑豆粉で作る春雨です。春雨工場があり、タイでは定番のお土産として人気があります。また、人気の麺料理「パツタイ」は通常米粉のビーフンや平たい麺を使用しますが、春雨を使ったパツタイも独特の食感が楽しめます。



サファイヤ



カノムピア



ホイロット(二枚貝)



ベンジャロン焼き



ドラゴンジャー

ラーチャブリーアロマココナッツ  
バンチャーンチリ  
卵麺  
バー・シン・ティン・チョーク(女性  
の巻きスカート用の布)



バー・シン・ティン・チョーク

## タイ一村一品運動

タイで買い物をしていると、パッケージに「OTOP (オトトップ)」のマークがついた商品を見かけます。このマークがついた商品は、タイ政府が推進する「一村一品運動」で生まれた特産品。全国77県7,000以上の村が登録し、品質管理のもと1村 (One Tambon) につき1種類の主要製品(One Product)を作っています。そのひと品ひと品が、「タイ各地の職人の技」「先祖代々受け継がれた伝統」「その地に産する素材」「その地の気候」が混然一体となった逸品ばかり。職人が育る伝統工芸品はもろろスイーツや食品、コスメ、アクセサリ、仏像まで幅広くラインアップされています。タイ全土のスーパーマーケットやデパート、直営ショップなどで購入できますので、お土産としてもおすすめです。



## ジュエル・フェスト・クラブ

「ジュエル・フェスト・クラブ」はThe Thai Gems and Jewelry Traders Association (TGJTA) (英) で構成され、貿易促進及び品質保証された商品を扱っている非営利団体です。加盟店には右記のロゴ表示がされています。加盟店の最新リストは下記URLをご覧ください。

[www.thaigemjewelry.or.th/](http://www.thaigemjewelry.or.th/) (英語)

TEL 02-630-1390

FAX 02-630-1398



## ショッピングセンター

- 76 **ロータス Lotus's (大型スーパー)**  
355/3 Saengchuto Rd. (パボン・ボン・バユセーナー病院前)  
034-514-033
- 74 **カノックカン KANOKKAN (デパート)**  
15 Soi 3 U-Thong Rd. (カンチャナブリーバスターミナルすぐ近く) 9:30 ~ 20:00  
034-514-888
- 75 **FN Fly Now Outlet**  
33/3 Moo 3 Saengchuto Rd. 9:00 ~ 20:00  
034-604-444





# グルメ

## GOURMET

タイ中央部の料理は「クロブ・ロット(Full of Taste)」と呼ばれていることからわかるように、バラエティに富んだ味わいが特徴で、他の地域と異なる様々な味覚に出会えることが魅力です。甘さ、酸っぱさ、しょっぱさ、辛さがすべて含まれています。旅先で食べたご当地グルメ。そこでしか味わえない地元ならではの名物料理や食材をご紹介します。



# アクティビティ

## ACTIVITY

山や溪谷など風光明媚な自然美の宝庫、カンチャナブリー。いくつもの国立公園が交錯し、森、川、滝など、大自然を全身で満喫できる様々なアクティビティが用意されています。選び方も、楽しみ方もお好み次第なツアーに参加して、心身が甦り、生まれ変わるような冒険を体験してみませんか。

### ゲーンパー (ジャングルカレー)

### 揚げサバとナムプリックカピ (エビみそ)

#### カンチャナブリー県

カンチャナブリー県名物のジャングルカレー (ゲーンパー)は、辛くてスパイシーなご当地カレーです。エキゾチックなスパイスやハーブが豊富に使われ、平飼いの鶏やジビエ、ワニ、カエルなどの独特なお肉が特徴です。強い匂いを和らげるために多くのハーブが加えられ、ココナッツミルクは使用しないスープカレースタイルでご飯と共に楽しめます。「ジャングル」という名は、かつて狩人が野生の肉を使って食べたことに由来します。サイヨークのナムツク駅近くで味わえます。



#### サムットソクラーム県

オキアミを発酵させた正統派調味料。揚げサバの味を引き立てる名脇役です。良質のカピには、良質なオキアミが欠かせません。サムットソクラーム県クローンクローム村は新鮮で香りがよいオキアミが捕れることで有名です。野菜につけて食べるとおいしく、なす、インゲン、キャベツ、おくら、きゅうりなどの温・生野菜と一緒に食べます。また、カピにマウという酸味のあるナスの一種をいれて、石臼でたたいて混ぜるとおいしいです。マウ入りカピは知る人ぞ知る珍しいアレンジです。



### 黒豆腐

### スパン・ウォーターチェスナッツ

#### ラーチャブリー県

タイに住む華僑の人々が伝えたという黒豆腐は、醤油、八角などの香辛料などと一緒に、豆腐を数日間煮たこの地域に伝わる郷土料理。すき焼きに入っている焼き豆腐のようなマイルドな風味。そのまま食べるほか炒め物や煮物の具としても。素朴でローカルな味わいは、ラーチャブリーを訪れたなら外せない一品です。



#### スパンブリー県



スパン・ウォーターチェスナッツはシログワイの品種です。玉ねぎのような形をしていて、ナッツのような甘みがあり、果肉が厚く、色は白い色をしていて、歯ごたえがあります。スパン・ウォーターチェスナッツはその栽培土壌の特徴から実が大きく果肉がしっかりしており本格的な味わいがあります。2016年にタイの地理的表示(GI)製品に登録されました。

### カオムデー (焼き豚のせご飯)

### レストラン RESTAURANT

#### ナコーンパトナム県

白米の上にとろり柔らかい豚豚とお店特製のスパイスたっぷりのタレをかけたメニュー。この地域には古くから中華系タイ人が住んでおりカオムデー専門店が多く存在します。2023年にはタイ文化省が認定するタイ文化遺産にナコーンパトナム県のカオムデーが登録されました。市内には多くの専門店が立ち並び気軽に味わうことができます。



レストランの情報はここから



### 象乗り

#### 象に乗ってジャングルクルーズ

熱帯樹がうっそうと生い茂るジャングルを、雄大に流れる川の中を、頼もしい象の背に乗って、ゆったりとんびり巡ることができます。いつもより高い目線から森を眺めて、囀る野鳥を間近に感じたり、枝を走り回るリスに会えたり、長い鼻で水を飲む象の姿を背中から覗くうち、森に息づく生命力を感じ心身に活力がわいてくることでしよう。名所を見て回ったり、筏下りや鉄道の旅などと組み合わせれば半日から数日のツアーが多数催行されています。

### 象の保護

#### 象の楽園でボランティア体験

カンチャナブリーにある象の救済施設。病気や高齢になった象たちが、穏やかに余生を暮らしています。訪問者はボランティアとして餌を作って与えたり、沐浴の手伝いをしたり、看病をするなど象のお世話を体験できます。短期間から長期間にわたって働きながら生活できる環境も整い、象とふれあいながらタイの暮らしや文化を知ることができます。

- 📍 **エレファントワールド Elephants World**  
086-335-5332 www.elephantsworld.org
- 📍 **サイヨークエレファントパーク Saiyok Elephants Park**  
034-591-255 www.elephanthaventhailand.org

### ゴルフ

#### 自然と戦略性が魅力

自然に恵まれたカンチャナブリーや仏教伝来の地ナコーンパトナムなど、バンコク近郊は、タイ全土で最もゴルフコースが集まっている地域です。多くは平坦な地形に造成されていますが、池やバンカーを巧みに配して高い戦略性を備えており、ベテランゴルファーも充分満足できます。バンコクに滞在しながら日帰りで出かけることが可能なので、シティライフも同時に楽しむことができます。



ゴルフ場の情報はここから



### 釣り

#### 広大なダム湖でワイルドに釣りを

川、滝、湖など豊富な水に恵まれているカンチャナブリーは、釣り好きの方には特に魅力的な場所だと言えるでしょう。クウェー・ノイ川、クウェー・ヤイ川、カーオ・レーム・ダム、シーナカリン・ダムなど、絶好の釣り場がそこかしこに。なかでも、シーナカリン・ダムが、魚の種類、量ともに豊富で最高の環境を備えています。人影の少ないところは避け、足場のしっかりしたポイントで、ジャイアント・スネークヘッドなど大型の淡水魚を狙ってみましょう。

### ラフティング&カヌー

#### 竹の筏でエキサイティングな川下り

ボートで名所を巡るツアーや、専用ボートを利用する水上ラフティングタイプのホテルがあるなど、川辺でのアクティビティが数多くあるカンチャナブリー。特にエキサイティングなのが、竹で作った筏での川下りです。エンジン付きボートに曳航された筏は川上で舳いがはずされ、そこからクルー全員でオールを使い川を下っていきます。川の流れに乗るような息を合わせて筏を漕ぐ体験は、冒険気分満点です。流れがゆるかな川では竿で下るタイプの筏もあり、共にライフジャケットを完備。滑らない履き物と濡れてもいい服装で参加しましょう。

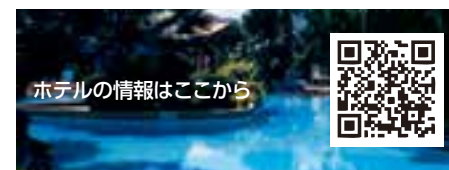
### 文化体験

#### シャム時代のレトロ体験

チャオプラヤー川流域に栄えた当時の街並みやライフスタイルを再現したレトロな人工都市テーマパークでは、シャム時代のタイの人々の生活や街の雰囲気を実際に体験することができます。

- 📍 **マリカシティー 1905 A.D. Malika City, 1905 A.D.**  
034-540-884 www.malika124.com/

### ホテル HOTEL



ホテルの情報はここから





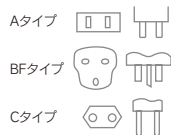
## 気候・服装

1年を通して日差しが強く高温多湿なので、通気性の良い服装をおすすめします。ただし山岳部では朝晩冷え込むこともあり、テパートやレストランの中など一部エアコンが効きすぎているところもあるので、防寒着を1枚持って行くのが安心です。敬虔な仏教国であるタイでは、王宮や寺院を訪れる際、肌を極端に露出した服装(例:タンクトップやショートパンツなど)やサンダルでは入場できないので気を付けましょう。

## 両替・銀行

空港や両替のできるホテルを除いて、円やドルは使えません。出国前(日本の空港)またはタイ到着時に両替を行ってください。スワンナプーム国際空港内の銀行両替所は24時間営業しており、市内の銀行は月曜日から金曜日の8:30～15:30まで、観光地やショッピングセンター内にある出張両替所なら、10:00～21:00頃まで開いています。※銀行や支店により異なります。

## 電気



電圧は交流220V(50Hz)で、プラグはA、BF、Cタイプ。※現在、主要都市のほとんどのホテルが日本と同じAタイプに対応しています。

## 飲み水

水道水は飲めませんので、飲料水を購入してください。

## 喫煙マナー

タバコ類持ち込みは1人250グラム、または200本まで。税関申告不可。超過分は原則没収および罰金となります。また、電子タバコのタイへの持ち込みは禁止されています。違反した場合には、10年以下の懲役または50万バーツの罰金のいずれかが科せられます。※他人の分を所持しているだけでも没収・罰金。空港内やレストランを含む冷房の効いた建物内では、スモークエリアを除き「禁煙」となっています。路上への吸い殻のポイ捨てはもちろん、ゴミのポイ捨てや唾を吐くことも罰金の対象となっています。

## 戻し税について



タイへの旅行者は、タイ国内において同日同一店で購入した合計2,000B以上の買い物について7%の税金(Value-Added Tax)分を帰国時に空港で払い戻してもらうことができます。払い戻しを受けるためには「VAT REFUND FOR TOURISTS」の表示店で購入し、購入時に必要事項を書類に記入します。空港のVAT窓口でチェックイン前にその書類を申請を。詳しくはタイ国政府観光庁日本語ホームページで確認を。

www.thailandtravel.or.jp/about/leave/#vat-refund

## パスポート・ビザ

日本国籍でタイ入国後60日(59泊60日)以内の観光目的の滞在の場合、FIXの往復航空券を所持していればビザ無しで入国す

ることができますが、国際規定によりパスポートの残存期間はタイ入国時に6カ月以上と推奨されています。空路での入国は60日、また隣国より陸路での入国は60日の滞在が可能です。入国管理局の判断により60日間の滞在許可が下りない場合もあります。60日以上での滞在を予定されている方、あるいは観光目的以外で入国される方は、事前にタイ王国大使館、領事館でビザを取得してください。また各航空会社によりパスポート残存期間の規定が異なります。利用前に航空会社にお問い合わせください。

在京タイ王国大使館 領事部(ビザ) 090-2529-7787  
www.thaembassy.jp

タイ王国大阪総領事館 06-6262-9226  
www.thaiconsulate.jp

在福岡タイ王国総領事館 領事部 092-739-9090  
fukuoka.thaembassy.org/jp/index  
大使館・領事館 電話対応時間 15:30～17:30



## 現地での移動手段

### 鉄道

タイの国鉄は、バンコクを起点に各地方都市を結んでいます。主な路線としては、北本線(チェンマイ行き)、南本線(スガイクーロク行き)、東北本線(ノーンカーイ行き)、東北本線(ウボンラーチャターニー行き)の4ルート。空路に比べて所要時間は長くなりますが、低コストで移動することが可能。料金は、1等車から3等車まで、利用する等級によって異なります。

State Railway of Thailand  
www.facebook.com/pr.railway  
チケット購入はこちらから  
www.dticket.railway.co.th

### バス

郊外の観光スポットに行くには、定期路線のバスが便利です。バスターミナルは町のほぼ中央にあります。長距離バスの場合、エアコンの有無や座席の広さなどにより、普通バス、2等エアコンバス、1等エアコンバス、VIPバスの4種類があり、料金が異なります。

カンチャナブリー・バスターミナル 034-511-182

### サムロー

カンチャナブリー市内の移動には、駅やバスターミナル、ホテル周辺で待機しているサムローが便利でしょう。サムローとは、3つの車輪の意味。カンチャナブリーの場合は、3輪車を自転車に乗って引く人力タイプ。料金は交渉制で、距離、人数、荷物などにより異なります。乗車する前に、行き先を告げ料金の確認をしっかりとしてから利用しましょう。

### レンタル自転車(レンタサイクル)

カンチャナブリー市内の観光スポットは散在しているので、自転車で回るのもいいでしょう。街中にあるレンタル自転車屋で借りることが可能です。小回りもきくので、自分のペースで自由気ままに観光を楽しむことができます。

## ソントウ

ソントウは、乗合制の定期路線バス。乗りたい時に手をあげてバスを止め、運転手に行き先を告げて行きたい場所を通るかを確認します。行く方向があっていれば、OKがでて乗り込むことができます。2路線あり、シティホール行きとクウェー川鉄橋行きがあります。

## いざという時に

外国人観光旅行者の安全を図るために、「ツーリストポリスが特別に設けられており、「Tourist Police」という肩章をつけています。観光地にはツーリストポリス警察署や派出所が設けられており、英語を話すことができますので、トラブルが発生した場合は連絡をしましょう。

### いざという時の連絡先

ツーリストポリス・コールセンター 局番なし:1155  
スワンナプーム国際空港内 02-132-6596  
ドンムアン空港内 02-5351-641  
警察 局番なし:191  
火事 局番なし:199  
救急車 右記大型病院へ連絡

### バンコク入国管理局

※ビザ延長など  
The Government Complex Commemorating  
His Majesty,B Building,Floor 2 (South  
Zone) Chaengwattana Road (Soi 7),Laksi,  
Bangkok 10210  
02-141-9889 02-143-8228  
開月～金 08:30～12:00,13:00～16:30  
休土日祝日

### 在タイ日本国大使館

177 Witthayu Road,Lumphini,Pathum  
Wan,Bangkok 10330  
02-207-8500 (代表番号)  
02-696-3000  
領事部 ※パスポートの紛失等  
02-207-8501, 02-696-3001 (直通番号)  
領事部邦人援護班  
02-207-8502, 02-696-3002

### 在チェンマイ日本国総領事館

Consulate-General of Japan in Chiang Mai  
Airport Business Park,90 Mahidol Rd.  
T.Haiya,A. Muang,  
Chiang Mai 50100  
052-012-501

## ボート

カンチャナブリーの街は、クウェー・ノイ川とクウェー・ヤイ川とその2本の川が合流したメー・クロン川が流れています。これらの川をボートに乗って、観光スポットを巡るのも一興です。ボート乗り場は、ソーン・クウェー通りの渡し船発着所あたりにあります。チャーターする場合には、乗る前に料金、時間の確認をしましょう。

### 電話のかけ方

タイから日本へ電話をかける場合は、001-81 (日本の国番号) - [0]をとった市外局番から相手先の電話番号をプッシュします。例) 03-1234-5678へかけたい場合、001-81-3-1234-5678

「International」の表示がある公衆電話は国際電話が可能。ホテルの部屋の電話を利用するのが最も便利ですが、郵便局や空港からも掛けることができます。硬貨を多めにご用意いただくか、コンビニなどでテレフォンカード(300バーツから)をご購入ください。※タイの国番号「66」

### 病院

<カンチャナブリー>  
Phaholpolpayuhasena Hospital  
(パホン・ボン・パユハセナー病院)  
034-587-800  
Thanakarn Hospital (タナカーン病院)  
034-540-601  
Kanchanaburi Memorial Hospital  
(カンチャナブリー・メモリアル病院)  
034-912-888  
Sangchuto Hospital (セーン・チュート病院)  
034-621-127

<ナコーンパトム>  
Nakhon Pathom Hospital  
(ナコーンパトム病院)  
034-240-000

<サムットソクラーム>  
Amphawa Hospital (アンパワ病院)  
034-702-112

<スバンブリー>  
Supamitr General Hospital (スバミット総合病院)  
035-523-777

<ラーチャブリー>  
Ratchaburi Center Hospital(ラーチャブリー・センター病院)  
032-719-600  
※各病院とも英語のみでの対応となります。



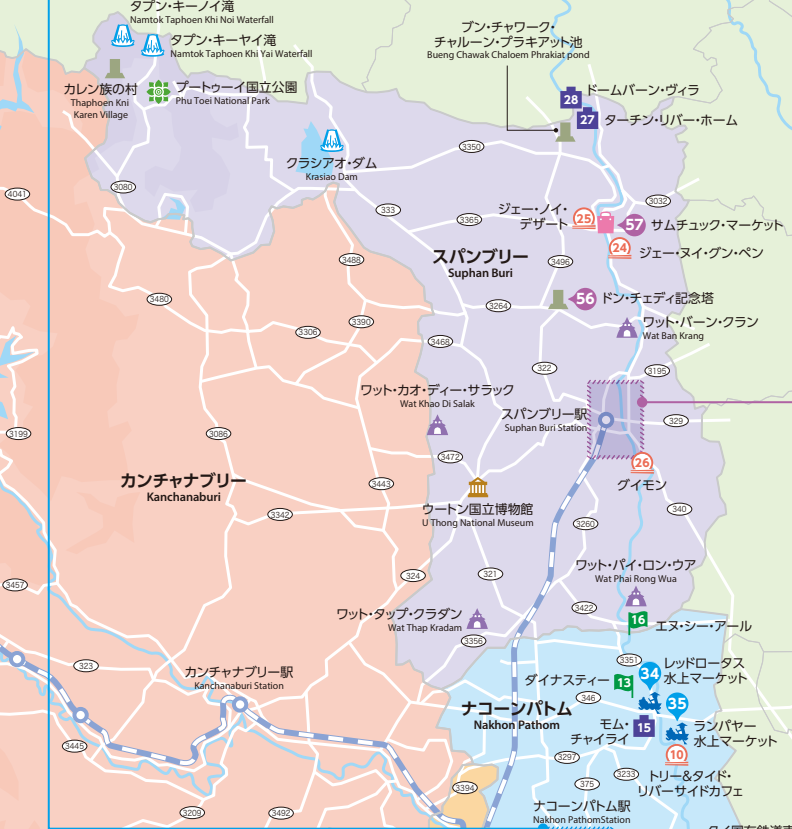




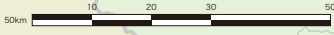
ナコーンパトム市街A



ナコーンパトム市街B



Icons and legend for various facilities: 公園・国立公園, 博物館, 温泉, 船着場, ホテル, 寺院・教会, 橋, ショッピング, バスターミナル, レストラン, 滝・ダム, 洞窟, アクティビティ, タイ国政府観光庁, 水上マーケット, 病院, 掲載番号.



タイ王国 Kingdom of Thailand

タイ湾 Gulf of Thailand

50km